参加率・満足度95%を生む 体験型防災ワークショップ企画ガイド

総合防災プログラム チルそな！
SAT ONE BOSAI 発行

1. なぜ従来の「マニュアル朗読訓練」は社員からシラけられるのか？

「毎年同じ避難経路を歩く」「マニュアルを読まされて終わり」という訓練は、社員に「防災＝退屈な義務」という印象を残します。実際の災害で必要なのは、想定外の事態に直面した際に社員同士で対話し、手持ちの物資で臨機応変に判断する現場力です。本プランは体験7割・講義3割で構成します。

研修プログラム	プログラムの概要・ルール	得られる効果・社員の行動変容
BCP体験ゲーム『限界72!!』	発災から72時間の混乱（停電・怪我・断水・通信途絶）をチーム対抗で競うシミュレーションカードゲーム。	「自社の備蓄、これじゃ足りない！」と社員自ら痛感。翌日から備蓄場所や連絡網の確認が自然発生。
オフィス街歩き訓練『チルパト』	オフィスの半径1kmを歩き、倒壊危険ブロック塀、帰宅支援ステーション、給水ポイントを班別探索。	机上の地図では分からない「実際の街の死角」を五感で記憶し、発災時の帰宅判断が的確に。
非常食テイスティング ブラインド評価会	アルファ米や最新レトルト非常食を実際に食べ比べ、社員の投票で次回備蓄品を選定。	「総務の押し付け」から「全社の福利厚生イベント」へ昇華。若手・非正規・役職の壁を越えて参加が広がる。
水運び・階段搬送 フィジカル体験	エレベーター停止を想定し、10L（10kg）の水を階段で運ぶ過酷さをチームで実証。	「水はあっても運べない」という最大の死角に気づき、フロア分散配置や搬送具の調達へ直結。

2. 体験型ワークショップ標準半日スケジュール（13:00〜17:00）

時間帯	プログラム内容	参加者の役割・アクション	ワークショップのゴール
13:00〜13:30	オリエンテーション・2027年公的動向解説	被災現場の実態データ（能登・千葉台風）をインプット。	**「他人事」から「自分事」へマインドセット**
13:30〜15:00	チーム対抗戦『限界72!!』プレイ	役職混合の4〜6名チームで次々起きる危機に対処。	**初動の過酷さと備蓄の重要性を五感で体感**
15:00〜15:10	休憩・チーム編成替え	席を移動し、他部署の視点をブレンド。	**部署間連携・対話の活性化**
15:10〜16:30	街歩き『チルパト』または自社死角探索	オフィス内外の危険箇所、トイレ隔離保管場所を撮影・点検。	**自社オフィスのリアルな死角マップを完成**
16:30〜17:00	振り返り・自社改善アクション発表	各班が「明日からできる改善」を経営陣へプレゼン。	**社員主導のBCP改善タスクをその場で決定**

3. 開催に必要なスペース・備品・進行のコツ

SPACE：会議室＋外歩き
4〜6名×4班が島を作れる広さ（30名なら60㎡目安）。街歩き用に雨天代替ルートも用意。

EQUIPMENT：水・段ボール・スマホ
階段搬送用10L水、断熱段ボール、撮影用スマホ。社内備蓄品をそのまま教材に活用可能。

FACILITATION：経営陣を最後に呼ぶ
最後の20分だけ役員が出席すると、発表が「意見」で終わらず「決定」になり定着率が跳ね上がる。

※「参加率・満足度95%」は当社実施研修の受講者アンケート結果です。所要時間は会場により調整可能です。

自社BCPの死角判定 ＆ チルそな！解決ソリューション

4. 自社オフィスの「防災訓練・社員エンゲージメント」死角セルフチェック

チェック項目	現状	死角判定
年1回の防災訓練が「マニュアル配布や点呼だけ」で形骸化し、社員が退屈していないか	□ 適合 □ 未定	訓練の死角
役員不在時、現場のリーダーが自発的に避難や事業継続を判断するシミュレーション経験があるか	□ 適合 □ 未定	判断の死角
オフィスの外に出て、周辺のリアルな倒壊危険壁や給水拠点を歩いて確認したことがあるか	□ 適合 □ 未定	地域の死角
若手や非正規社員を含め、全社で防災を「自分ごと」として語り合える空気があるか	□ 適合 □ 未定	組織の死角

5. 研修の翌日に会社に残る3つの具体的成果物

OUTPUT 01：自社の死角マップ
街歩きで撮影した危険箇所・給水拠点・帰宅支援ステーションを地図に可視化し全社掲示。

OUTPUT 02：改善アクション台帳
各班の発表を「担当・期限・費用感」の3列で台帳化。翌月からそのまま進捗を追える体制へ。

OUTPUT 03：備蓄の見直しリスト
ゲームと試食で出た「足りない物・いらない物」を反映。数量と品目の根拠をセットで残せる。

6. チルそな！が提供する4つの解決ソリューション

MENU 01
防災プチ診断
10,000円〜 （オンライン30分）
30分で自社の死角をプロが洗い出す健康診断。組織風土に合った研修設計を短時間でアドバイス。

MENU 02
備蓄アップデート
要お見積り （選定・調達・運用）
ワークショップで浮き彫りになった不足資材や備蓄品を、廃棄ロスを抑える循環型ストックへ刷新。

MENU 03 ｜ 最適解決
セッションP（限界72!!）
100,000円〜 （ワークショップ）
カードゲーム『限界72!!』や街歩き『チルパト』の出張開催。社員の防災意識を変える体験型研修。

MENU 04
チルそな！ルーム
月額 10,000円〜 （税抜）
研修後の社員アクション定着を顧問型で伴走。年1回の防災イベント企画も継続的に支援。

▼ 体験型研修・ワークショップの開催相談
👉 カードゲーム研修・街歩き訓練の講師派遣「MENU 03 セッションP」へ

合同会社サットワン（SAT ONE BOSAI） ｜ メール：office@tokyobosai.com ｜ ポータル：https://sat-one-bosai.web.app/

※世田谷区STEAM教育指導員の資格を持ちメディア出演実績のある乾栄一郎編集長が直接進行します。
※本資料は、東京防災情報誌編集部及び合同会社サットワン乾栄一郎に帰属します。転載・引用・二次利用の際は出典の明記をお願いいたします。